

「市民のための図書館」を目的とした、地元書店との双方向的な関係づくり

白河市立図書館(福島県白河市)

URL: <https://library.city.shirakawa.fukushima.jp>

テーマ

図書館と書店等が連携した経営・運営

取組概要

- ・図書館の蔵書で、手元におきたい本や手に入りづらい本を図書館経由で地元書店に注文
- ・地元書店との積極的な関係構築及び資料購入

取組詳細

■図書館の蔵書で、手元におきたい本や手に入りづらい本を図書館経由で地元書店に注文

利用者が手元におきたい本や手に入りづらい本は、図書館に備え付けの注文票に記入し、図書館経由で書店に渡す。書店は注文票をもとに本を手配し、納品後、直接利用者に連絡し、購入の手続きを行っている。利用者からは「手軽に本が買えて良かった」「図書館で思わぬ本を見つけて、書店に注文できて良かった」などの感想が寄せられている。

■地元書店との積極的な関係構築及び資料購入

開館して13年が経過した市立図書館～りぶらん～をはじめ、地域館(3館)、学校図書館(21館)で選書された資料(図書・雑誌)は一貫して地元書店及びそれらが加盟している書店組合から購入している。図書館では、市民のための図書館運営を目的として、週1回、司書による選書会議を行っている。その際、書店から需要度の高い図書や地域に関係の深い図書についての情報を得ることで、様々な分野の作品に目を配りながら選書を行うことができる。書店は、選ばれた資料について、迅速な納品と図書館の形式に合わせた装備(フィルムカバーなど)対応を行う。そうすることで、図書館は、時宜に即した展示や蔵書構成を実現することにつながっている。

当館の特色ある蔵書構成として、少子高齢化対策や移住定住の促進などの地域課題に関わる資料のほか、医学書、人文書などの専門書やコミックが充実していることがあげられる。多様な蔵書構成を生かし、利用者が書棚を見た時、意外な発見や出会いのある蔵書構成を心がけている。このような図書館の取組は、書店との日常的なコミュニケーションを心がけることで実現している。



注文票を館内に設置



館内(1階部分)

基本データ

(数値は令和5年現在)

住所 福島県白河市
道場小路96-5

人口
(図書館が所在する市町村)
5.7万人

職員数(うち有資格者数)
34人(29人)

蔵書数
約40万冊

* 職員数、蔵書数とも市内4館

取組の成果と今後

資料の購入を地元書店から行うなど、積極的な関係構築を行っている。そうすることで、地元書店の振興になるだけでなく、図書館の蔵書の拡充や利用者の増加にもつながっている。

利用者は、図書館の豊富な蔵書を参考にして、欲しい本を書店に注文することができる。また、インターネットで注文することが困難な住民への支援にもつながっている。

今後も書店との連携についてPRに努め、地元書店の活性化にも寄与するとともに、読書環境の充実に努めていく。